

## 緊急風しん対策について

### 1 趣旨

本市では、風しんの流行に伴う「先天性風しん症候群」の発生を防止するため、本年4月22日から、緊急措置として、風しんワクチンの接種事業を行っています。

一方、全国的にワクチン接種者が急増したことにより、ワクチンの供給不足が発生したため、特に6月中旬から8月にかけて、市内でも当事業による接種を希望される全ての方に接種を受けていただくことが難しい状況にありました。

現在、風しん患者の報告数は減少していますが、依然として報告は続いています。

そこで、ワクチンの増産供給が開始された9月以降も、引き続き、対象となる市民の皆様に接種を受けていただくことができるよう、当初9月30日までとしていた事業期間を来年3月31日までに延長しました。

### 2 内容

#### 【対象者】

19歳以上の横浜市民で

- ① 妊娠を予定・希望している女性（妊娠中は接種できません。）
- ② 妊娠している女性の夫

※麻しん風しん混合（MR）ワクチン又は風しん単独ワクチンの接種歴が2回ある場合を除く。

#### 【対象ワクチン】

麻しん風しん混合（MR）ワクチン1回分（風しん単独ワクチンは助成対象外）

#### 【実施場所】

協力医療機関 772か所（横浜市医師会の協力により実施）

#### 【市の負担額】

約6,000円（接種費用の約2/3 ワクチン費用相当額を負担）

#### 【接種時の自己負担額】

3,000円（接種費用の約1/3 直接医療機関窓口で支払）

#### 【実施期間】

平成25年4月22日から平成26年3月31日まで

### 3 事業実績

風しんワクチンの緊急接種事業による接種者数

4月（9日間）	5月	6月	7月	8月	合計
2,584人	7,764人	7,302人	3,571人	（集計中）	21,221人

※接種者数の約8割が女性、約2割が男性

### 4 事業経費

引き続き、現行の予防接種事業予算（約79億円）の中で執行します。

なお、神奈川県が市町村が負担する経費の1/3（上限3,000万円）を補助します。

## 5 神奈川県内市町村の事業実施状況

現在、県内全 33 市町村で、ワクチンの助成事業を実施しています。

(県内市町村の事業終了時期)

平成 25 年 9 月 30 日まで 6 市町村 (横須賀市、秦野市、厚木市、大和市、相川町、清川村)  
⇒一部延長を検討中

平成 25 年 11 月 30 日まで 1 市 (川崎市)

平成 26 年 3 月 31 日まで 26 市町 (上記以外) ※三浦市は平成 26 年 2 月 28 日まで

### 【参 考】

#### (1) 市内の風しん流行状況

市内の風しん患者の報告数は、平成 25 年 4 月 (135 件)、5 月 (133 件) から、6 月 (96 件)、7 月 (57 件)、8 月 (19 件) と減少しています。

#### (2) 風しんワクチン定期予防接種の経緯

昭和 52 年 (1977 年) 8 月 中学生女子のみを対象に定期接種開始

平成 7 年 (1995 年) 4 月 生後 12 か月～90 か月未満の男女を対象に風しんの定期接種開始

平成 18 年 (2006 年) 4 月 MR ワクチン(麻しん、風しん混合)の定期接種(2回接種)が開始

I 期: 生後 12 か月～24 か月未満の間に 1 回接種

II 期: 5 歳～7 歳未満で小学校入学前 1 年の間に 1 回接種

平成 20 年 (2008 年) 4 月～平成 25 年 (2013 年) 3 月末

5 年間の経過措置として III 期、IV 期の定期接種を実施

III 期: 中学 1 年生

IV 期: 高校 3 年生相当年齢の者

#### (3) 男女別・年齢別風しんワクチン接種状況 (年齢は平成 26 年 4 月 1 日現在)

